

平成25年度 栗原市のお金の使い道 (栗原市決算概要)



「市民が創る くらしたい栗原」
～みんなで明日へ～



は　じ　め　に

市民のみなさま、こんにちは。市長の佐藤勇です。

栗原市は合併より10年目を迎えました。

「市民が創る くらしたい栗原」の実現に向けもっと前進して行くために、昨年度から「新たな7つの成長戦略」を掲げ、目標達成に向け確かな歩みを進めて

いるところであります。

平成25年度におきましては、次世代を担う子育て支援策として、幼保一体化施設の整備や小・中学校の教育施設整備を行うとともに、中学生以下の医療費の完全無料化や任意予防接種の無料化を実施、若者定住対策では、住まいの栗原ホームサーチ事業や市主催による婚活促進事業に取り組むなど、各種施策を実施いたしました。

また、安定した雇用対策と1千人雇用を実現する戦略では、第2大林農工団地並びに三峰工業団地整備事業に着手し、200万人観光に向けた戦略では、平成27年秋の日本ジオパーク認定に向け、栗駒山麓ジオパーク推進協議会を立ち上げ官民協働による地域づくりを推進し、観光情報発信事業として、テレビやラジオ、新聞などを活用し、市のピーアールやイベントの告知などを行い、栗原の魅力を発信し、多くの方々にお越しいただきました。

この「栗原市のお金の使い道（平成25年度決算概要）」は、「わかりやすく」、「見やすく」を心がけて作成していますが、お気づきの点があればご意見などを寄せいただきながら、「市民が創る くらしたい栗原」とともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、市民のみなさまの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年11月



栗原市長

佐藤 勇

～ 目 次 ～

新たな7つの成長戦略	1
主要事業の決算額一覧	9
1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」	
(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します	12
(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	13
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	15
2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」	
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	16
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	17
(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります	17
3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」	
(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	18
(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります	20
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	22
4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」	
(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場產品づくりに取り組みます	23
(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	24
(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します	25
5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」	
(1) 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します	26
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	26
(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	26
6 「震災からの復興を成し遂げ 発展していくまち」	
(1) 社会生活基盤の早期復旧を図り、市民生活の再建を支援します	27
(2) 産業基盤の復旧を進め、震災をバネにした新たな産業の創出などによる地域経済の活性化を図ります	27
(3) 市民協働による災害に強いまちづくりを推進します	28
(4) 福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散への備えを進め、安全・安心な暮らしを守ります	28
7 地域経済活性化・雇用創出臨時交付金事業関係予算	29
8 特別会計・事業会計決算の主な事業	30
9 平成24年度からの主な繰越事業	32

「市民が創る くらしたい栗原」の実現に向け

もっと前進させるための『新たな7つの成長戦略』

戦略1

観光客数を、77万人から200万人まで増やします

栗原が持つポテンシャルを引き出すための観光基盤の整備を行うとともに、あらゆるメディアを活用した一大キャンペーンなどを展開し、積極的かつ大胆な情報発信に取り組みます。

戦略2

企業の誘致を進め、自動車関連産業など4社の誘致、

1千人の雇用を実現させます

高速交通網に恵まれている地の利を生かした工業団地の整備を進めるとともに、交通アクセスのさらなる向上を図るインフラ整備も積極的に推進します。また、企業への各種奨励金制度や雇用拡大奨励金制度の拡充を行い、積極的な雇用の確保に努めます。

戦略3

「子育ては栗原で」をスローガンに、若者の人口を

1千人増やします

「子は何物にも優る宝」であり、健やかに成長してもらうための各種子育て支援の一層の充実を図るとともに、若者世代の定住促進に向けた各種施策に取り組みます。

戦略4

幼稚園の3年保育の実現と、保育所入所の待機児童を

ゼロにします

幼稚園・保育所一体型施設を基本とした基盤整備を進め、幼稚園の3年保育の実現を図るとともに、ゼロ歳児の入所児童数を増やすための保育所の施設改修や、低年齢児の保育を行っている認可外保育所への支援など、保育所への入所機会の確保に努めます。

戦略5

「学府くりはら」を目指して、小・中学生の学力を

レベルアップします

将来を担う子どもたちの「生きる ちから」、すなわち人間力の基礎となる学力、道徳性、ふるさとを愛する心、健康、体力を育むために、「少人数学級」を推進するとともに、補助教員の配置や宮城教育大学との連携、市独自の教育研究センターの設置などによる学力向上に取り組みます。

戦略6

高齢者の施設入所待機者300人を半分にします

生涯にわたって生きがいを持ち、元気で健康的な生活を送れるよう「寝たきりにしない・させない」ための介護予防事業の充実を図るとともに、介護施設の整備を促進します。

戦略7

市立病院の医師を増やし、充実させます

市民の皆さんに、充実した診療を提供し、安心して暮らしていただくために、医療スタッフ確保のための取り組みを継続するとともに、医師招へいのための新たな施策も検討します。



戦略 1

観光客数を、77万人から200万人まで増やします



【戦略1を達成するため新たに取り組んだ事業】

- ◆観光情報総合発信事業（27ページ）
- ◆栗原産農林水産物PR事業（27ページ）

- ◆6次産業推進事業（23ページ）
- ◆栗原市地域活性化PR事業（27ページ）

- ◆小水力発電公園の整備

* 小水力発電が導入可能な小田ダムの施設整備検討調査を行う事業

- ◆観光振興のための道路整備事業（13ページ）
(市道御蔵線、合道軍沢線合道吊橋)

- ◆都市計画道路桜町線(栗原中央線)整備事業（13ページ）

- ◆森林散策道整備・林道花山～文字線整備

* 市内の観光地及び観光施設と連動した林道及び散策コースの整備を行う事業

- ◆あきる野市・大垣市との交流事業

* 災害時相互応援協定を締結している両市との相互交流事業

- ◆国際交流事業の拡充(台湾交流事業)

* アジア圏における新たな交流を開拓する事業

- ◆栗駒山登山道整備事業

* 登山客の安全確保のための点検や刈払い整備、案内標識の設置などを行う事業

- ◆「美しいくりはら」景観計画策定調査事業（12ページ）

- ◆くりはら田園鉄道公園整備事業(25ページ)



【継続して取り組んだ事業】

- ◆旧くりでん若柳駅跡地活用事業

* 「くりでん乗車会」など、旧くりでん若柳駅を活用するイベント等を実施する事業

- ◆栗駒山麓ジオパーク構想推進事業（25ページ）

- ◆田園観光都市創造事業

* 地域資源を活用した新しい観光産業づくりに取り組む事業

- ◆細倉マインパークリニューアル事業

- ◆ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議

- ◆市道清水目・嶋駒線道路整備事業

- ◆商店街等誘客施設整備事業

* 栗駒山への玄関口である旧栗駒町役場跡地に、簡易直売所、公衆トイレを設置し、駐車場整備を行う事業





戦略2

**企業の誘致を進め、自動車関連産業など4社の誘致、
1千人の雇用を実現させます**

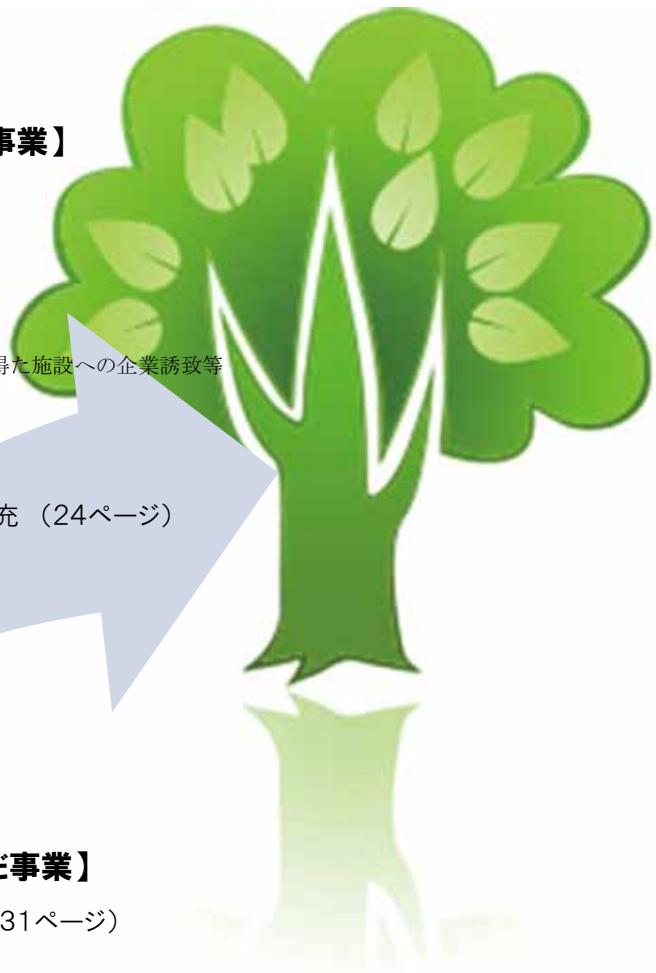
【戦略2を達成するため新たに取り組んだ事業】

- ◆ (仮称)栗原東大橋橋梁整備事業 (15ページ)
- ◆ 企業立地投資奨励金の拡充 (24ページ)
- ◆ 学校跡地施設の利活用事業
*学校再編により閉校となった施設のうち、地域同意を得た施設への企業誘致等による利活用を推進する事業
- ◆ 中小企業振興資金利子補給事業 (24ページ)
- ◆ 新規学卒者の雇用拡大(雇用拡大奨励金)の拡充 (24ページ)



【継続して取り組んだ事業】

- ◆ 三峰工業団地整備事業 (31ページ)
- ◆ 第2大林農工団地整備事業 (31ページ)
- ◆ 企業立地促進奨励金 (24ページ)
- ◆ 产学官連携事業
*企業ビジネス交流会やビジネスマッチング、ものづくり技術情報交換会の開催や東北職業能力開発大学校との連携による人材育成、技術研究などをを行う事業
- ◆ 雇用促進奨励金 (24ページ)
- ◆ 新産業創出支援事業 (24ページ)
- ◆ 誘致企業社員定住促進奨励金
*市内に事業所を立地（新設、移設、増設）した企業に対して、従業員の市内への住居の移転に要した費用に対する奨励金を交付する事業





戦略3

「子育ては栗原で」をスローガンに、
若者の人口を1千人増やします



【戦略3を達成するため新たに取り組んだ事業】

- ◆ 子ども応援医療費・子育て応援医療費助成事業の拡充
(所得制限を撤廃し、現物給付化) (19ページ)
- ◆ 特定不妊治療費助成事業の拡充 (19ページ) ◆ 親子ふれあい促進事業 (19ページ)
- ◆ 地域交通対策事業 (14ページ) ◆ 予防接種事業の拡充 (20ページ)
- ◆ 住まいの栗原 ホームサーチ事業(空き家バンク制度) (25ページ)
- ◆ 若者定住促進助成事業 (25ページ) ◆ 婚活促進事業 (25ページ)
- ◆ 新婚生活応援家賃助成事業 (25ページ)
- ◆ 市街地活性化まちなみ整備基礎調査事業
 - *郊外よりも人口減少率が高い既存市街地の未利用地の活用に連動させて、周辺一帯の整備を地元住民と行政が一体となって検討し、安全で利便性の高い「暮らしたいまちなか」の再生・形成を図り、人口維持・定住促進につなげる事業
- ◆ 定住促進下藤沢住宅建設事業 (14ページ) ◆ 住環境リフォーム助成事業 (14ページ)
- ◆ 単独浄化槽切替助成事業 (31ページ) ◆ 水洗化促進奨励金制度 (31ページ)
- ◆ 合併処理浄化槽事業 (31ページ)



【継続して取り組んだ事業】

- ◆ 住宅用太陽光発電設備設置補助金 (12ページ)
- ◆ すこやか子育て支援金支給事業 (18ページ)
- ◆ 一時保育事業 (19ページ) ◆ 母子保健健康診査事業 (19ページ)
- ◆ 保育所保育料2人目以降無料化事業
 - * 2人以上が同時入所した場合、2人目以降の保育料を無料とする事業
- ◆ 木造住宅耐震診断・耐震改修等助成事業 (15ページ)
- ◆ 妊婦歯科健診事業
- ◆ 放課後児童クラブ等運営事業 (18ページ)
- ◆ 地域子育て支援センター運営事業 (18ページ)
- ◆ 児童虐待防止対策事業 (18ページ)





戦略4

幼稚園の3年保育の実現と、 保育所入所の待機児童をゼロにします



【戦略4を達成するため新たに取り組んだ事業】

- ◆低年齢児保育施設助成事業（18ページ）
- ◆乳児保育事業（若柳川南保育所の保育室改修）（18ページ）
- ◆幼保一元化施設整備事業（栗駒・志波姫地区）（16ページ）
- ◆幼稚園整備事業（築館地区）（16ページ）
- ◆幼稚園・保育所施設整備にあわせた道路整備事業（13ページ）
(市道日吉通線他3路線・上町裏住宅1号線他1路線)



【継続して取り組んだ事業】

- ◆幼稚園預かり保育事業
- ◆スクールバス運行事業（16ページ）
- ◆私立幼稚園就園奨励事業
＊私立幼稚園への運営費補助及び保護者の経済的負担軽減のための補助を行なう事業





戦略5

「学府ぐりはら」を目指して、
小・中学生の学力をレベルアップします



【戦略5を達成するため新たに取り組んだ事業】

- ◆ 学力向上のための緊急プロジェクト
(学府ぐりはら「学力向上推進事業」の拡充) (16ページ)
- ◆ 市独自の教育研究センターの設置 (16ページ)
- ◆ 市立学校 ICT 環境推進事業
(タブレット端末を導入した情報教育の推進) (16ページ)
- ◆ 学府ぐりはら教員等配置事業
(少人数学級推進事業(任期付き市費負担教員の採用)) (16ページ)



【継続して取り組んだ事業】



- ◆ 『国際田園都市』づくり英語教育導入事業
* 小学校に外国語指導助手を配置する事業
- ◆ ALTの配置
* 中学校に外国語指導助手を配置する事業
- ◆ 学府ぐりはら教員等配置事業(補助教員の配置)
- ◆ 小中一貫校建設事業
* 弾力的な教育課程を編成して、児童生徒の発達に合わせた教育を行える
小中一貫校を金成地区に建設する事業
- ◆ 青空大使派遣事業 (16ページ)
- ◆ 家庭・地域・学校の連携による青少年育成のための協働教育推進事業



戦略6

高齢者の施設入所待機者300人を半分にします



【戦略6を達成するため新たに取り組んだ事業】

- ◆介護施設整備事業補助金（30ページ）
- ◆介護予防事業の充実・強化（寝たきりにしない・させない）（30ページ）
- ◆在宅サービス事業の充実
- ◆学校跡地施設の利活用（公募による介護施設の誘致）



【継続して取り組んだ事業】

- ◆高齢者生きがい健康づくり事業（22ページ）
- ◆包括的支援事業・任意事業（30ページ）
- ◆認知症対策事業
 - *地域型認知症予防事業「脳力アップ教室」や「脳いきいき教室」、認知症対策講演会の開催などを実施
- ◆認知症サポーター養成
 - *認知症になつても地域で安心して暮らせるまちづくりのために、地域の認知症サポーターを養成する事業





戦略7

市立病院の医師を増やし、充実させます



【戦略7を達成するため新たに取り組んだ事業】

- ◆ 医師招へいのための新たな施策の検討
- ◆ 医療機器整備事業（31ページ）
- ◆ 医師住宅整備事業
- ◆ 診療所へ太陽光発電設備等導入（12ページ）
＊災害時の初期診療を可能にする電力を確保するため、
高清水、瀬峰、鶯沢の3診療所に太陽光発電設備と
蓄電池を整備する事業



【継続して取り組んだ事業】

- ◆ 地域医療整備基金事業
＊医学生及び看護学生に修学金を貸し付けるための基金運営を行う事業
- ◆ 医学生修学一時金貸付事業（31ページ）
- ◆ インターネットによる医療スタッフ募集
- ◆ 院内保育所運営事業
＊医師の招へい及び看護師の確保を図るために設置した院内保育所について、
効率的かつ安全で充実した保育所の運営（夜間預かりを含む）を行う事業

